

39 カハタレカワザンショウ (カワザンショウガイ科)

兵庫県ランク:A

Assimineidae gen. et sp.

環境省ランク:VU

種の概要

東京湾から九州南部に分布。内湾奥干潟の高・中潮帯の湿った砂泥中に深く埋もれた転石下面に生息する。近年発見された未記載種。殻径1.2mm程度。低平で体層は大きく、周縁は丸い。薄いガラス質で光沢が強く白色半透明。臍孔は広く深く、周りは緩く角張る。

主要な選定理由

| 人為性 | | | 生息環境の特殊性 | | 学術性 | | |
|-------|--------|--------|----------|-------|-------|-------|----|
| 個体数激減 | 分布域に影響 | 営利目的捕獲 | 特殊生息環境 | 地域的孤立 | 分布が極限 | 分布の限界 | 希少 |
| | | | ○ | ○ | ○ | | ○ |

県内分布

洲本市

県内における生息状況及びその他特記事項

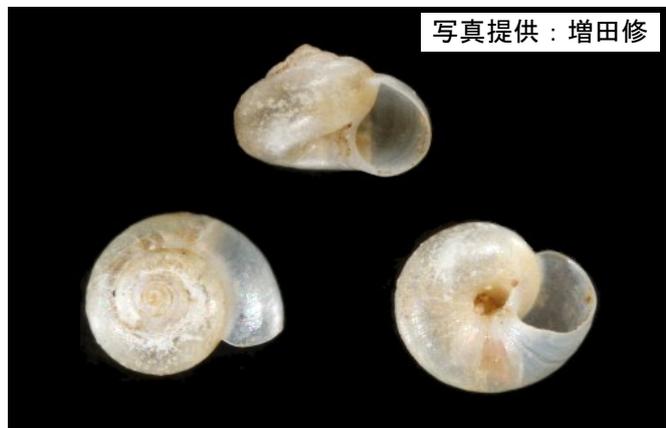
新規追加種。淡路島中部の内湾に面した海浜部の礫地飛沫帯において、少し埋もれた転石裏で確認されているが、生息地は限られ、生息数は極端に少ない。

保護上の留意点

内湾や河口にある飛沫帯や干潟は工事が行われやすいが、垂直護岸を設置せず、干潟や飛沫帯を保全する。



写真提供：川渕千尋



写真提供：増田修



【執筆者】 川渕千尋